

東京大学果樹園跡地の 活用方法の検討

第2回 検討会
2018年8月26日

1. 前回WSのふりかえり

1-1. 前回WSのふりかえり

第1回検討会

日時: 平成30年6月30日(土) 9:30~12:00

参加者: 35名

内容: 1) 昨年度ふりかえり + 今年度の目標・活動内容の共有

2) 敷地現況の確認

3) グループディスカッション

[テーマ1] 実証実験で何がやりたいか

[テーマ2] 実証実験をするために

具体的に必要なことと課題



全体意見

果樹園の復活

- 果樹園の手入れをして、敷地内でできた果樹を収穫し、販売（収益を得る）
- 果樹園を活かした学童教育

地域の集いの場

- 毎年、地区行事としてどんど焼きを行っている。地区の各団体が行事を行える場所として整備

WSを通じた樹木の維持管理

- エコフェスタのようなイベントを行い、その中で危険樹木の伐採や園芸の体験ができるWSを行う（受講料などによって収益を得る）
- 講師を呼んで、果樹や樹木などの維持管理のWSを行う。都内では受講料が高いことが多いので、このようなWSは需要がある
- 自然環境再生のWS

子ども達が自然に過ごせる場の整備

- 様々な子どもの居場所とし、自由な発想で好きなように過ごせる空間としたい
- 子ども自然塾のように子ども達が遊べる場
- 拠点としてのフリースクールのようなことをしてくれる人が居ると良い
- 学校や保育園の施設の方が散歩や遠足で使える場

その他意見

- 広域避難所としての場の整備
- 人が集まる場所にしていけるのであれば、交通などの安全性に留意した場にしていきたい
- 自然にふれあえる場として、全ての活動と自然が調和している場にしたい
- 樹木を残して育て、日陰など涼しい環境を整備（建物でなく、自然の物を利用して）

既存建築の再利用

- 建物をレンタルしてWSなどで利用
- ギャラリーとして利用

スポーツ活動

- 野球場利用の継続

人を集めるイベント

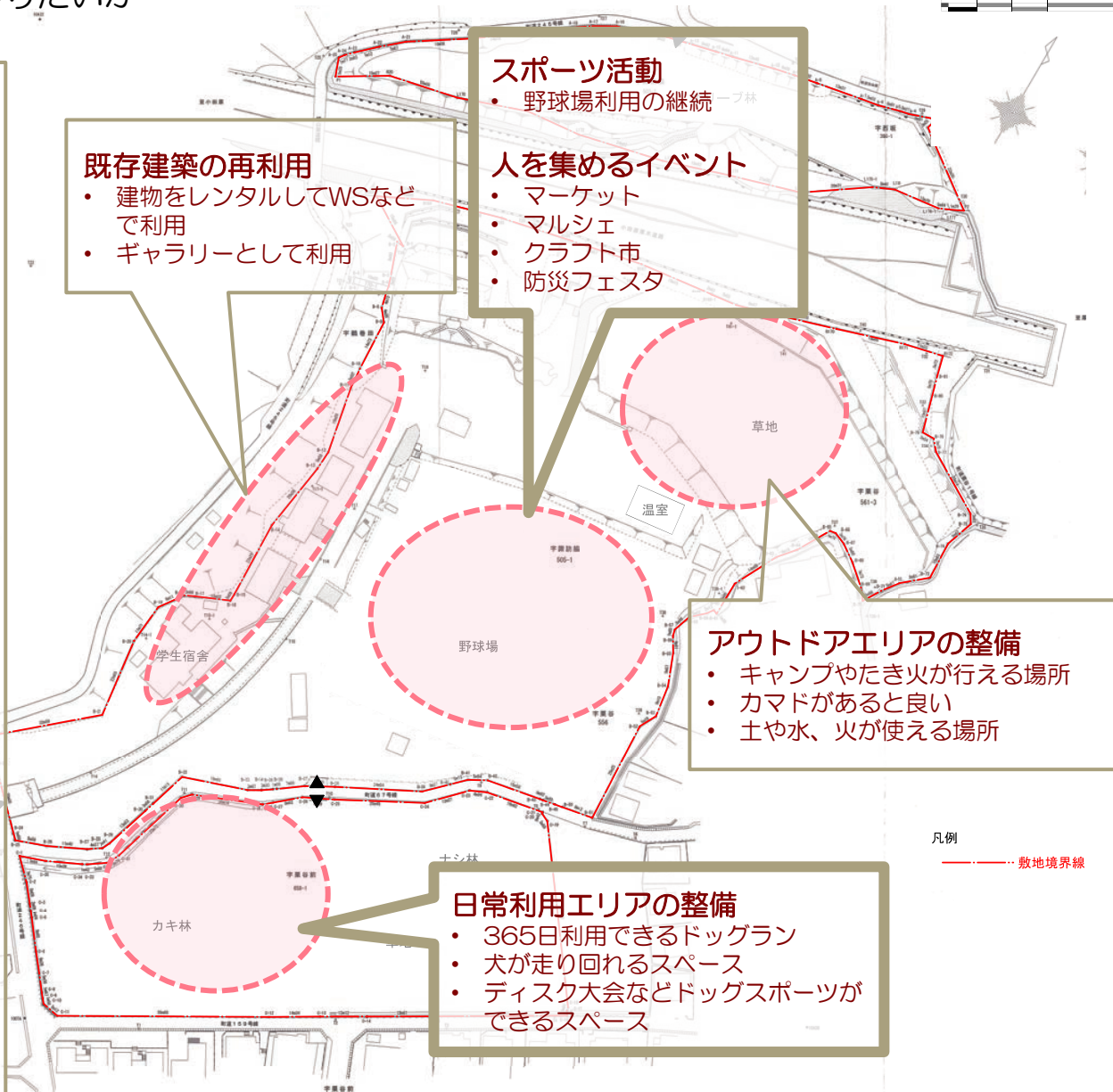
- マーケット
- マルシェ
- クラフト市
- 防災フェスタ

アウトドアエリアの整備

- キャンプやたき火が行える場所
- カマドがあると良い
- 土や水、火が使える場所

日常利用エリアの整備

- 365日利用できるドッグラン
- 犬が走り回れるスペース
- ディスク大会などドッグスポーツができるスペース



凡例

--- 敷地境界線

A班 テーマ2：実証実験をするために具体的に必要なことと課題～誰がどのように進めて行くか～

項目	課題・必要なこと	誰が、どのように進めるか
<div data-bbox="72 164 621 292"> <p>日常利用エリアの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドッグラン </div> <div data-bbox="72 307 621 371"> <p>人を集めるイベント</p> </div>	<div data-bbox="735 164 1481 235"> <p>空間の整備</p> </div> <div data-bbox="859 242 1471 371"> <p>支障物の撤去など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 果樹園時代のパイプやワイヤーが残っているため、撤去が必要 </div> <div data-bbox="859 378 1471 521"> <p>駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントを行えば、車で来る人が増える。現況の駐車場では収まらない可能性があるため、整備が必要 </div> <div data-bbox="859 528 1471 692"> <p>道路の拡幅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B,C地区間の道路は狭くて車のすれ違いが困難。車の出入りが増えれば近隣住民の迷惑になる。交通整備を行った方が良い </div>	
<div data-bbox="72 735 621 799"> <p>アウトドアエリアの整備</p> </div> <div data-bbox="72 813 621 885"> <p>地域の集いの場</p> </div> <div data-bbox="72 906 621 978"> <p>子ども達が自然に過ごせる場の整備</p> </div> <div data-bbox="72 999 621 1071"> <p>WSを通じた樹木の維持管理</p> </div>	<div data-bbox="735 735 1481 806"> <p>安全性の確保</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草むらには、イノシシやヘビ（マムシ、ヤマカガシ）が出る。草刈りなどの管理が必要 ・ 倒木の危険があり、立ち入り禁止の区域がある。人が利用するには、オープンな場所にすることが必要。現在は閉鎖的 	<div data-bbox="1605 735 2020 1085"> <p>みんなで+募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈り、樹木の剪定・伐採などのWSを企画し、WS内で樹木管理を学びつつ、敷地内の維持管理を行っていく </div>
<div data-bbox="72 1106 621 1178"> <p>果樹園の復活</p> </div>	<div data-bbox="735 1106 1481 1178"> <p>果樹園の維持管理</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現況の果樹は、当時のまま放置されているので、手入れをする必要がある 	
<div data-bbox="72 1292 621 1356"> <p>既存建築の再利用</p> </div>	<div data-bbox="735 1292 1481 1363"> <p>建築の改修</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物が老朽化し、現況のままでは利用できない 	

全体意見

人を集めるイベントの開催

- 語り部によるガイドツアー。東大果樹園跡地や建築だけではなく、遺跡や軽便鉄道などのまちの歴史を伝える
- 講師を呼び、手仕事体験など大人のための学びの場・WS

様々な人や活動の利用に対応できる設備の整備

- 手すりや多目的トイレ、休憩できるベンチなどを整備し、バリアフリー対応にしたい

その他意見

- 草刈りの負担を軽減できるよう植生管理ができればよい。
- 子どもの遊び場を常設にできればよい
- 高齢者、障がい者、不登校児童など様々な背景の人に対応した場所にできればよい
- コミュニティバスの駐車場の1つにしてほしい

既存建築を再利用した居場所づくり

- 宿泊体験
- カフェやコワーキングスペース
- 小規模で多目的な機能の部屋ができるよう整備する

農業体験のための畑の整備

- 畑での農業体験
- 果物加工体験
- マルシェ、ハンドメイド製品の物販

カマドや井戸の整備

- 野外調理に対応

子どもが主体の自然体験の場の整備

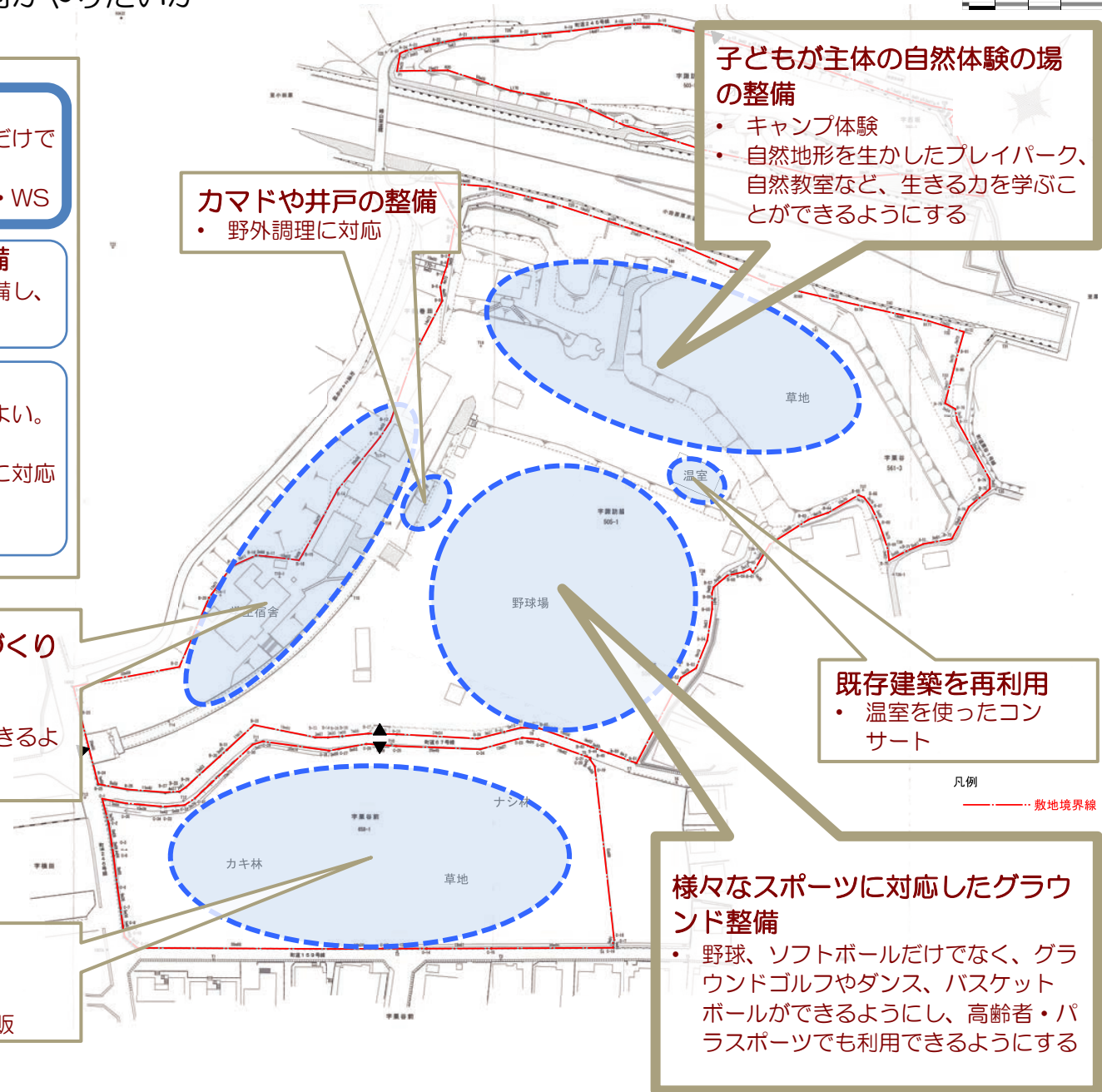
- キャンプ体験
- 自然地形を生かしたプレイパーク、自然教室など、生きる力を学ぶことができるようにする

既存建築を再利用

- 温室を使ったコンサート

様々なスポーツに対応したグラウンド整備

- 野球、ソフトボールだけでなく、グラウンドゴルフやダンス、バスケットボールができるようにし、高齢者・パラスポーツでも利用できるようにする



凡例
--- 敷地境界線

B班 テーマ2：実証実験をするために具体的に必要なことと課題～誰がどのように進めて行くか～

項目

課題・必要なこと

誰が、どのように進めるか

活動全般

トイレ整備

- ・ 現況では仮設トイレが1箇所しかなく、周辺施設のトイレを借りる場合がある。どのような実証実験をするにしても、来訪者の数に対応したトイレが必要である

活動体制

- ・ 東大果樹園跡地で活動している様々な団体がコラボレーションしたイベントにしたい

情報・魅力の発信

- ・ 東大果樹園跡地が利用できることを知らない人、そもそも東大果樹園跡地のことを知らない人がいる。そのような住民に知ってもらう必要がある
- ・ 住民だけでなく、町外の人や企業・事業体などに魅力をアピールできたらよい

活動団体による協議会をつくる

- ・ 現在、東大果樹園跡地で活動を行っている様々な団体による協議会をつくり、住民主体となった実証実験を行う

語り部や専門家を募る

- ・ 二宮町の歴史を知る住民に語り部を依頼
- ・ 造園の知識を持った専門家などに講師を依頼

人を集めるイベント（ガイドツアー・WS）

ボランティア

- ・ 草刈りは現在のようにボランティアで行っていきけるが、いずれはボランティアや寄付に頼らないように運営するべきである

グラウンド整備

農業体験のための畑の整備

自然体験の場の整備

火の使用

- ・ 現況の設備では大規模な火の使用、カマドの利用はできない

みんなで

- ・ 草刈り作業など、できることは参加者みんなでやる

既存建築の再利用

建築の改修

- ・ 建物が老朽化し、現況のままでは利用できない

全体意見

果樹の利用体験

- ・ 果樹を育てる体験の場
- ・ 野生の果樹を食べられる体験

自然体験活動

- ・ 自然再生の取り組みのWS
- ・ 子ども達の自然体験の場の創出
- ・ 野外活動。火おこし、屋外での料理体験
- ・ キャンプ。ここでしかできない宿泊体験
- ・ 腐葉土づくり

拠点づくり

- ・ ログハウスづくりのWS。建物があることで活動の可能性が広がる
- ・ 人の集えるコワーキングスペースづくり
- ・ 日陰となる施設がほしい

人を集めるイベント開催

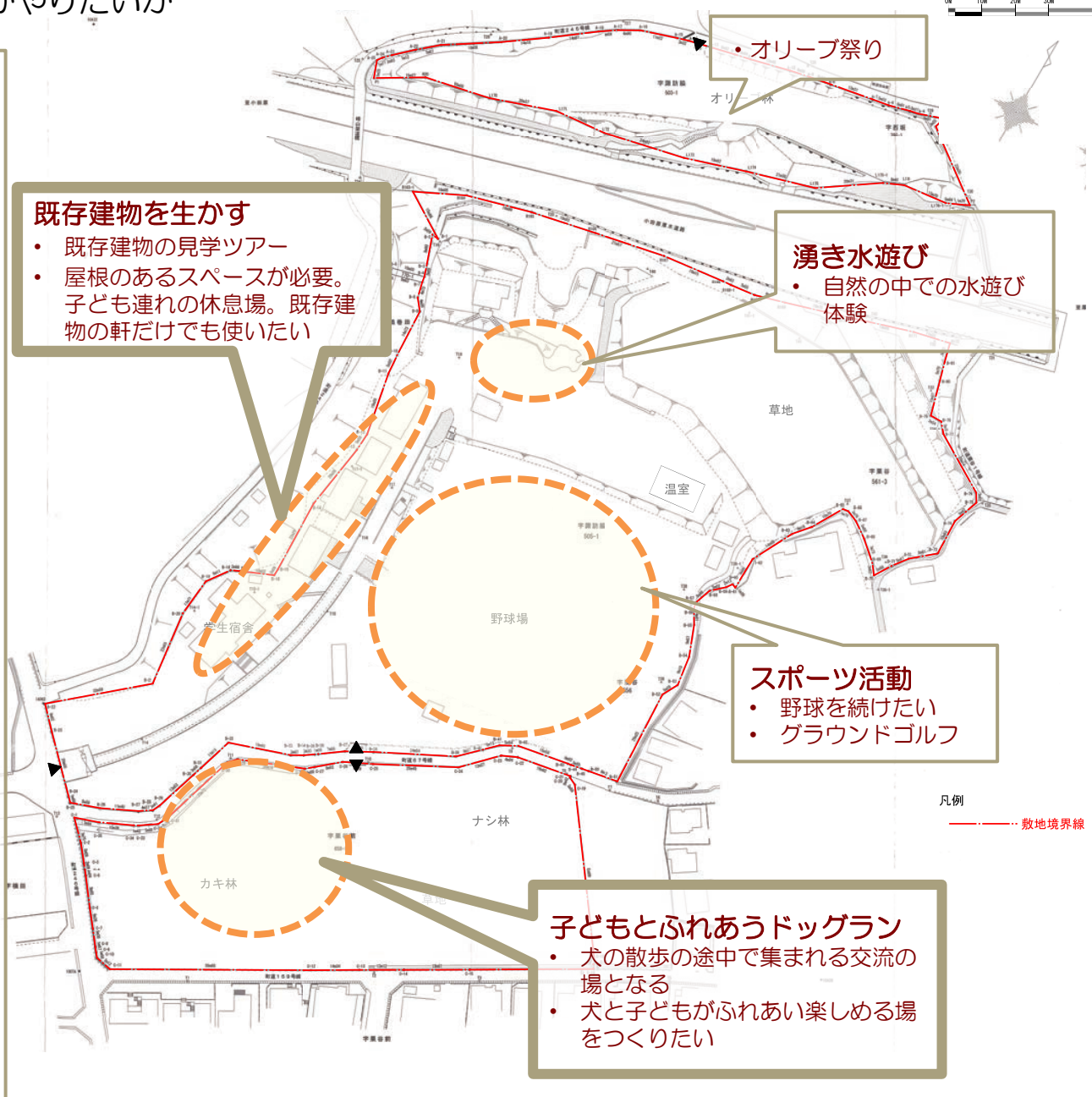
- ・ フェス（音楽・フード）
- ・ 朝市

情報発信

- ・ 二宮町の魅力を伝える写真展（誰もがみれるところに掲示）
- ・ 将来的には、町内全体の町歩きマップなどで情報発信していけるとよい
- ・ 展示スペース。二宮町の情報発信の場

その他意見

- ・ 町歩きの拠点にしたい
- ・ 震災時などの防災対策の拠点
- ・ 花を育てる活動。花によるコミュニティづくり



既存建物を生かす

- ・ 既存建物の見学ツアー
- ・ 屋根のあるスペースが必要。子ども連れの休憩場。既存建物の軒だけでも使いたい

湧き水遊び

- ・ 自然の中での水遊び体験

スポーツ活動

- ・ 野球を続けたい
- ・ グラウンドゴルフ

子どもとふれあうドッグラン

- ・ 犬の散歩の途中で集まれる交流の場となる
- ・ 犬と子どもがふれあい楽しめる場をつくりたい

C班 テーマ2：実証実験をするために具体的に必要なことと課題～誰がどのように進めて行くか～

項目	課題・必要なこと	誰が、どのように進めるか
<p>活動全般</p>	<p>駐車場など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場は、現時点の活動では足りていると思う。今後行う実証実験の集客規模によっては不足する ・ B,C地区間の道路が狭くて通行しづらい。特に、すれ違いが困難 <p>利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お年寄りの使いやすさに配慮してほしい。立地から利便性が悪いのでコミュニティバスのルートを東大果樹園跡地前までくるようにしてほしい。 	<p>→ 今年度の着手は困難</p>
<p>子どもとふれあう ドッグラン</p> <p>果樹の利用体験</p>	<p>支障物の撤去（C地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 果樹園時代に棚として使っていた鋼管とワイヤーが邪魔である 	<p>みんなで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WSでやってみる！
<p>自然体験活動</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然再生の活動 	<p>草刈りなどの日常管理にも配慮する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の維持管理も含めて考えるべき 	<p>みんなで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まずは草刈りから始める
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験の学びの取り組み ・ 学び、知ることで興味がわき活動にやる気が出るのではないか 		<p>子ども自然塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 造園や昆虫の専門家を呼んで現地講習会を行っている。今後の企画もしている。実証実験との連動も可能
<p>コワーキングスペース</p>	<p>建物がなくても屋外コワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物がなくても自然豊かな中で活動することで、クリエイティブな仕事ができるのでは ・ つながりが生まれる・出会いが広がる 	

やりたいこと

- ①自然体験のできるイベント
(キャンプ,樹木管理のWS,自然教室etc.)
- ②建物や歴史を活かした魅力の発信
(ガイドツアーetc.)
- ③日常的な利用のできるエリアの整備
(ドッグラン,農園etc.)

課題・必要なこと

- ①イベントを行うための空間整備
(駐車場,支障物の撤去,草刈りetc.)

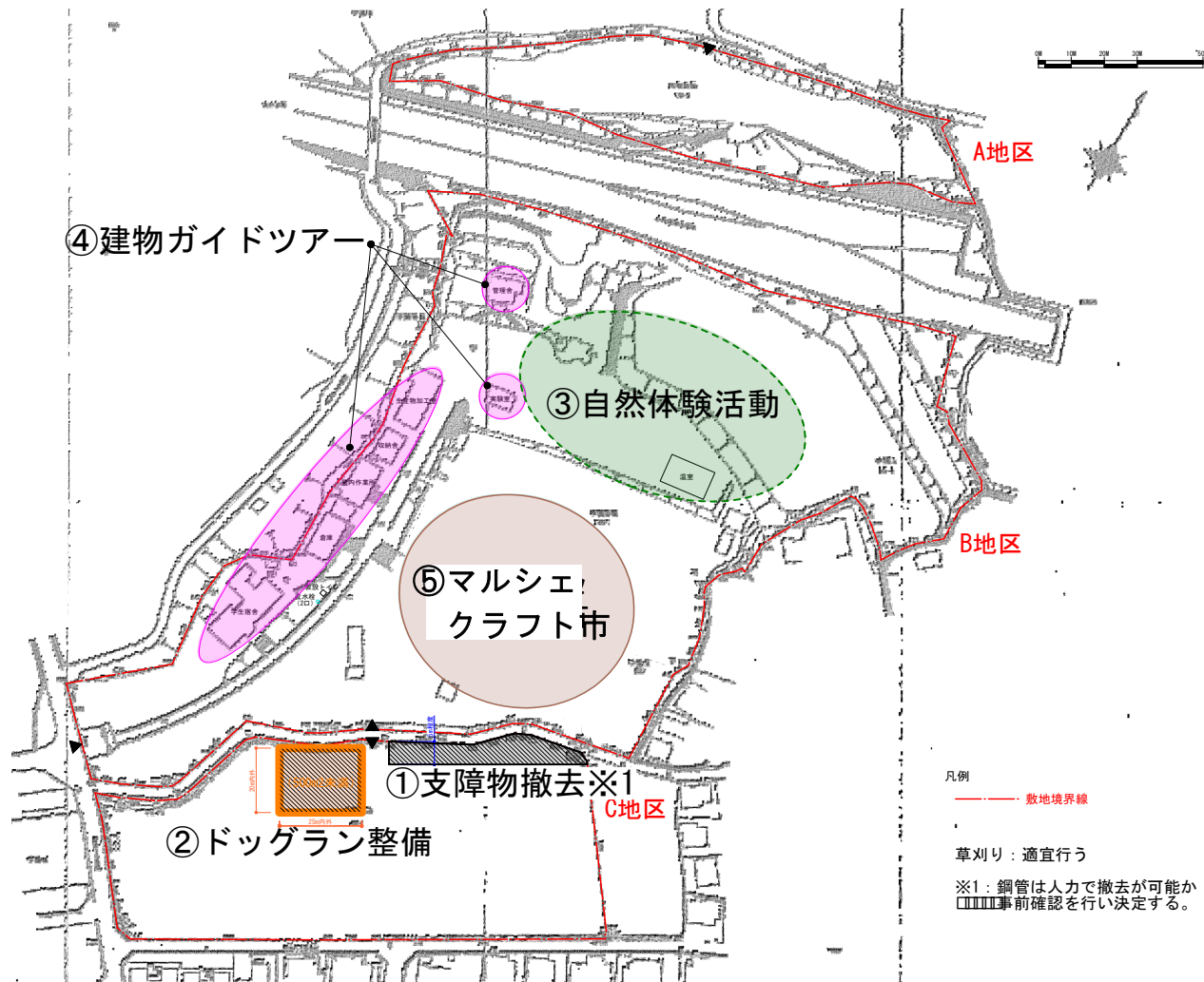
誰が、どのように進めるか

- ①自分達でできることはみんなで！
- ②活動団体による協議会の設置

1-2.WS意見を踏まえた今年度の活動

- WS意見を元に今年度の実証実験の主な内容を整理した。

- ①支障物撤去（C地区）
- ②ドッグラン整備
- ③自然体験活動
- ④建物ガイドツアー
- ⑤マルシェ
クラフト市



2.前提条件の整理

中期・長期

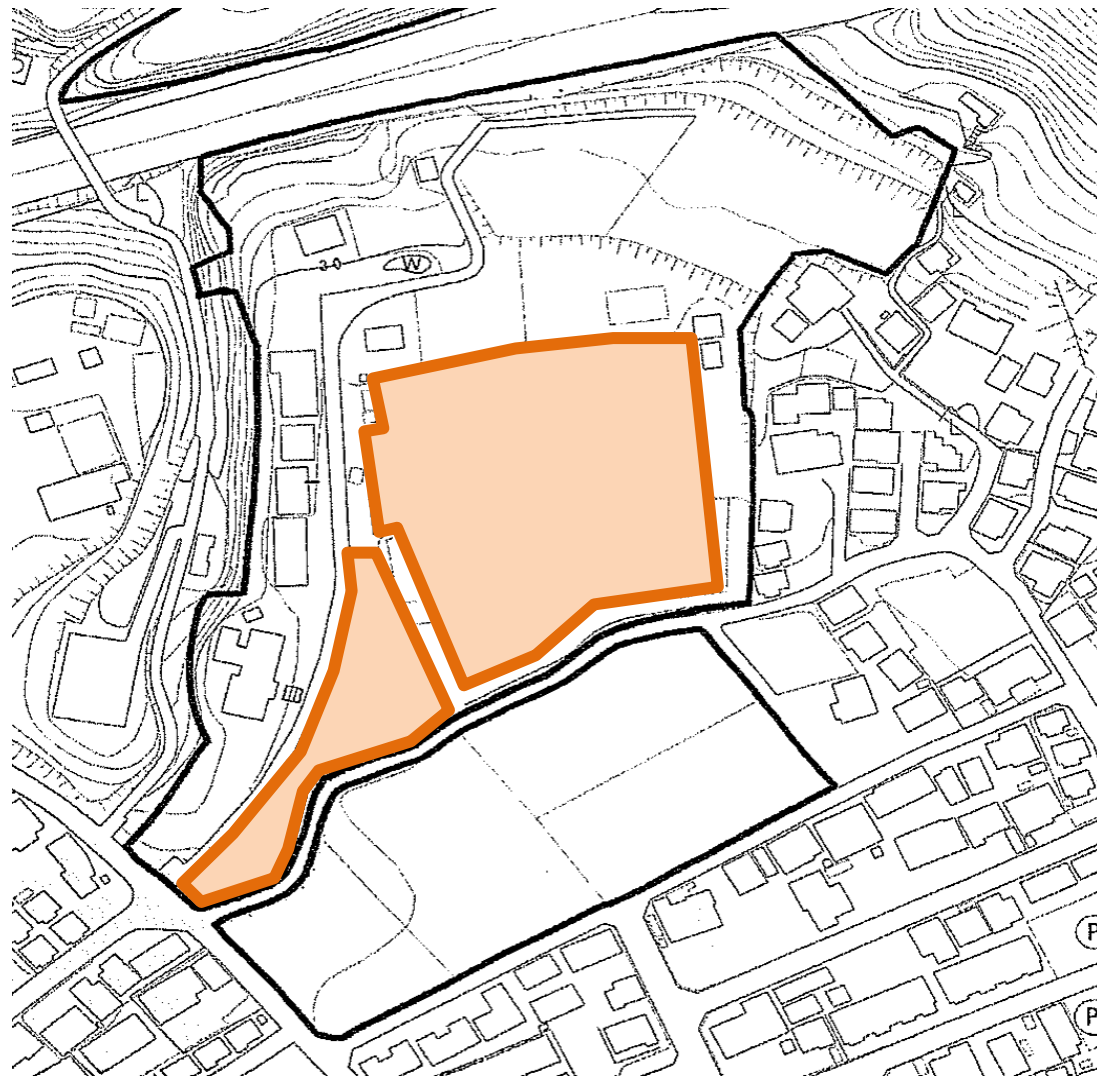
- 本格活用は、長期的なものとして位置付け、庁舎整備の方向性と将来の学校のあり方の検討結果を踏まえ、長期的な公共施設（再配置）用地として、検討を進める。

短期

- H29年度のWSを踏まえ、子ども達を中心とした交流の場としての活用方策を検討する。
- 活用方策の実施における管理運営体制を検討する。

「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（平成30年3月）」より

- 図のハッチ部分は、一色イーグルスに貸し出し。(H31.3まで)
- その他部分は、町にて最低限の草刈り程度の管理を行っている。(約100万円/年)



活動の前提条件

- 1 . 町民を中心とした管理運営団体で維持管理を行っていく
- 2 . 民間事業者などを活用し敷地内での収益で管理費用をまかなう仕組みをつくり、自活を目指す
- 3 . 東大果樹園跡地の認知度を高め、ポテンシャルを向上させることで魅力的な場所へ

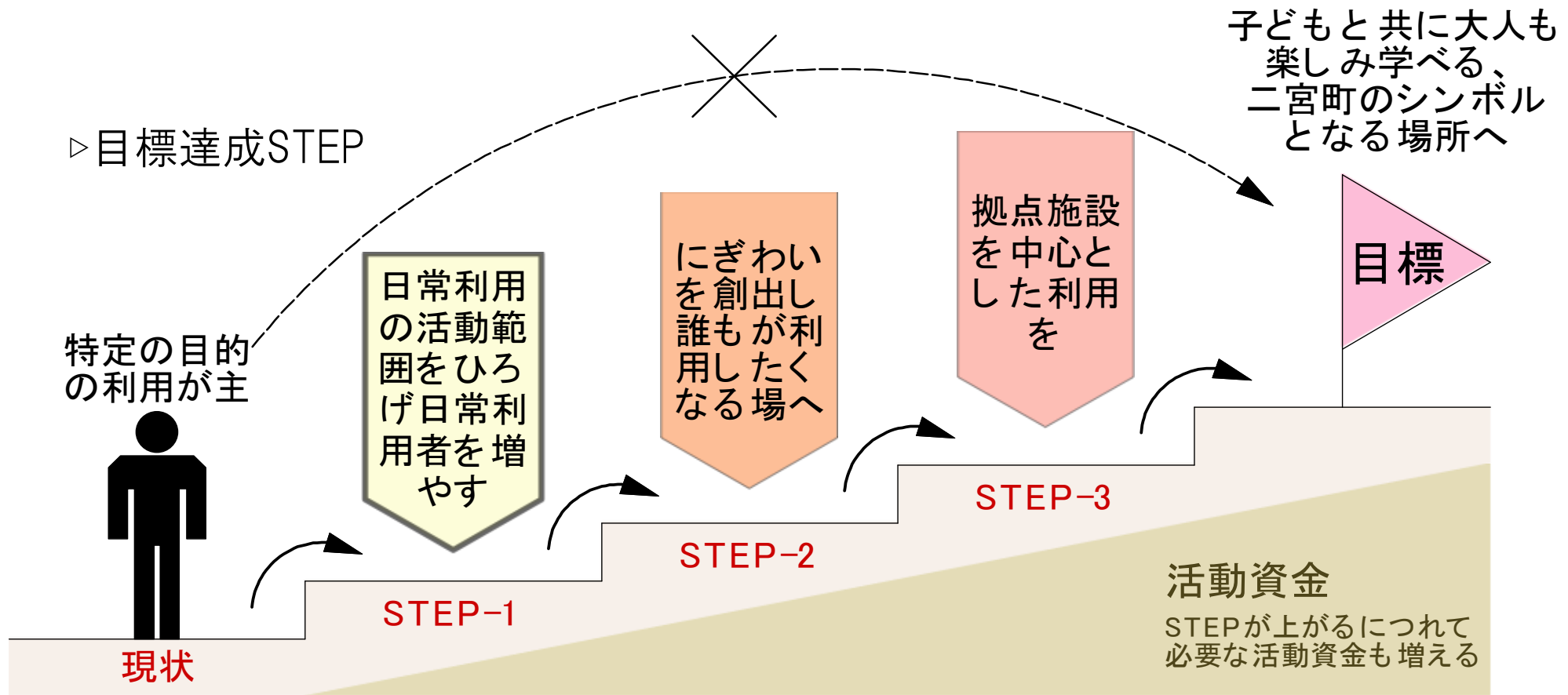
3.事業計画(案)

東大果樹園跡地を

「子どもと共に大人も楽しみ学べる場」へ

そのために何をすれば良いのか？

目標達成するためのステップ

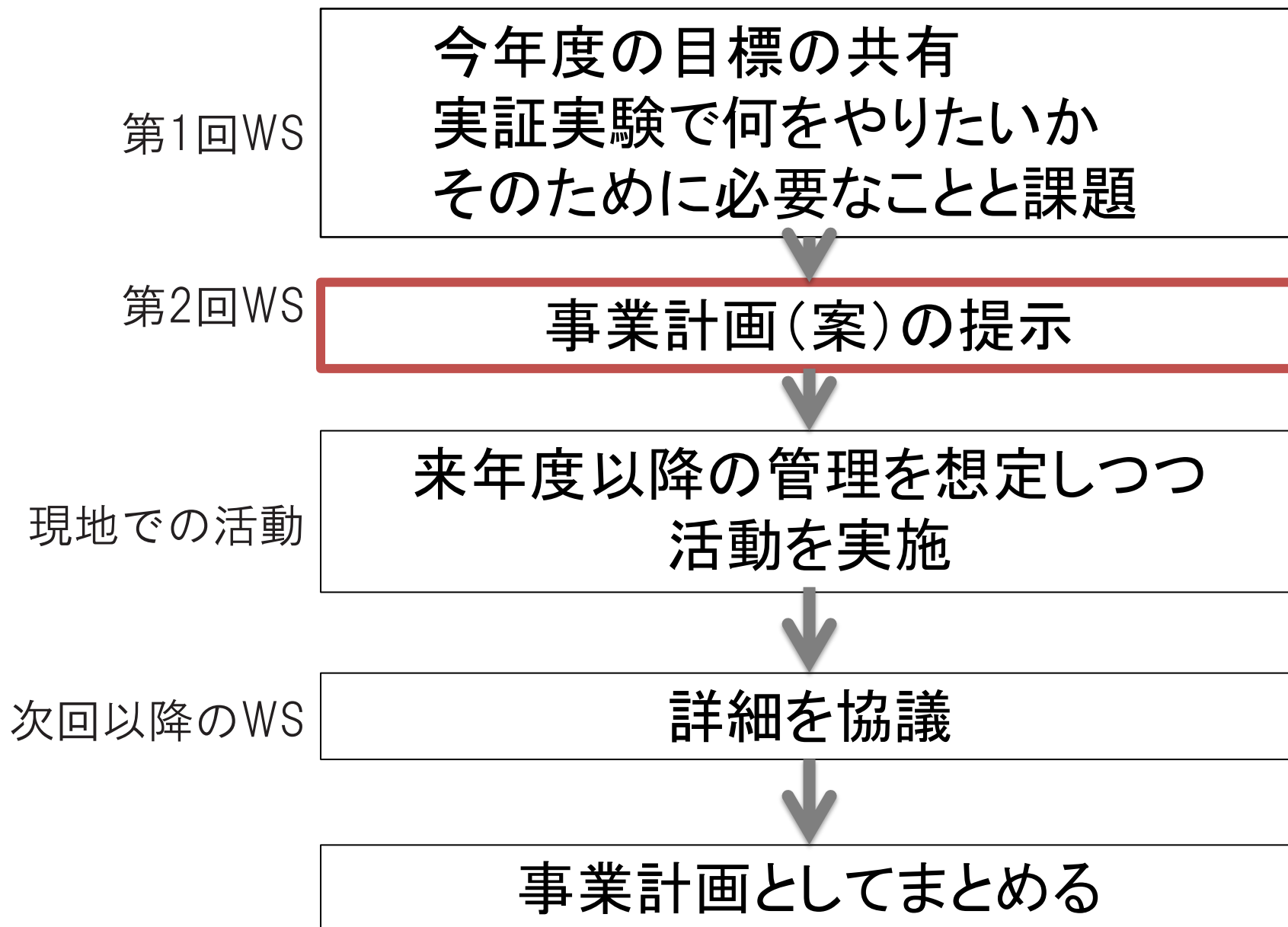


今年度の検討事項

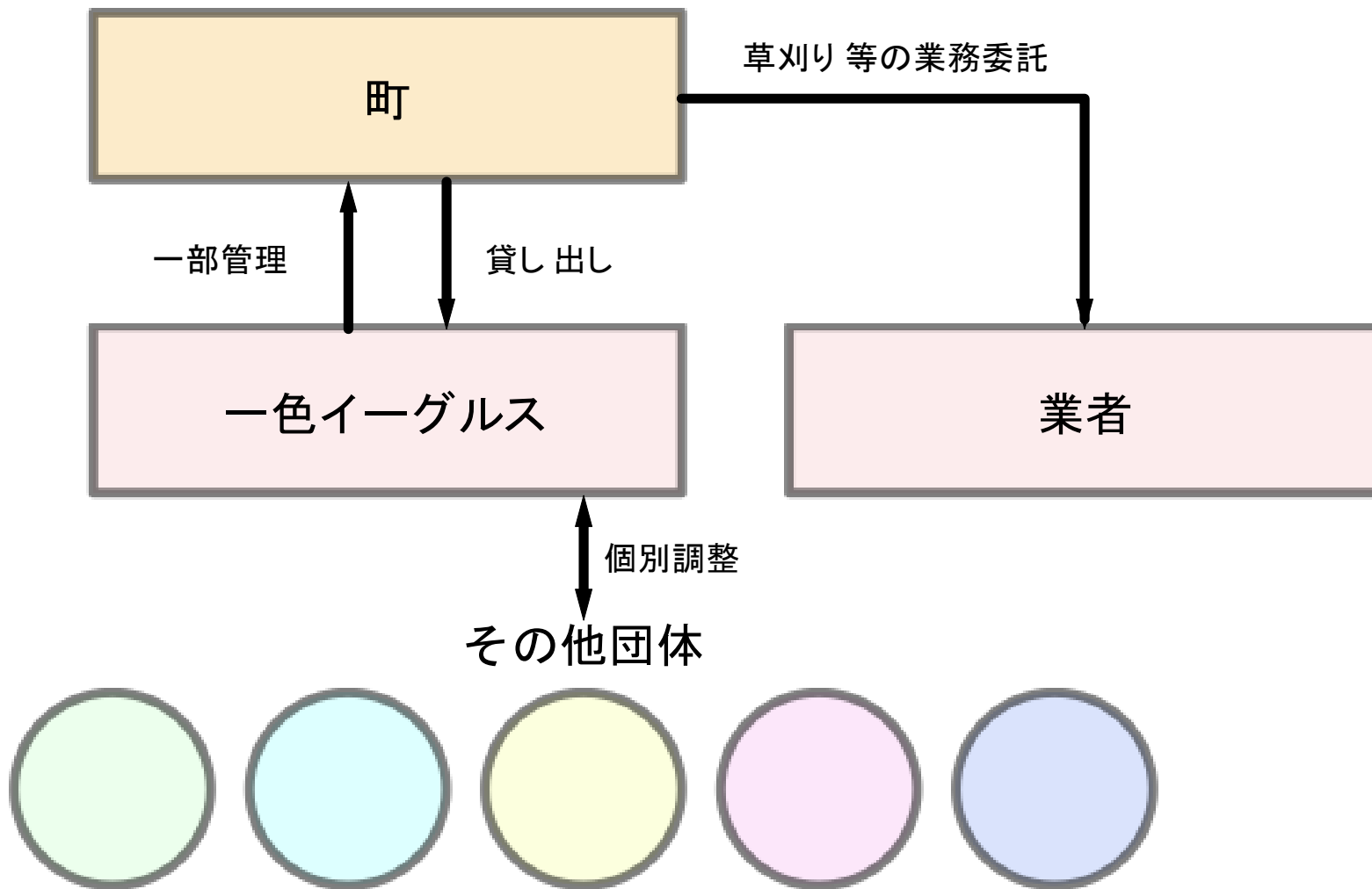
6W2H	今年度検討
WHY(なんのために)	「子どもと共に大人も楽しみ学べる場」をつくる。
WHO(だれが)	具体的な組織体制を検討する。
WHEN(いつまでに)	今後検討する。
WHERE(どこで)	東大果樹園跡地(B,C地区)。
WHOM(だれに)	子どもを中心とした多世代。
WHAT(なにで)	実証実験をして検討する。(イベント開催など)
HOW MUCH(いくらで)	事業資金を検討する。
HOW(どのように)	住民主体の管理運営による魅力、ポテンシャルの向上。

- 運営体制・組織
- 事業資金の調達方法
- 利用ルール etc.

今年度の実証実験を踏まえ
これらを検討し、
これから管理を行っていくための
事業計画をまとめます



現在の運営体制

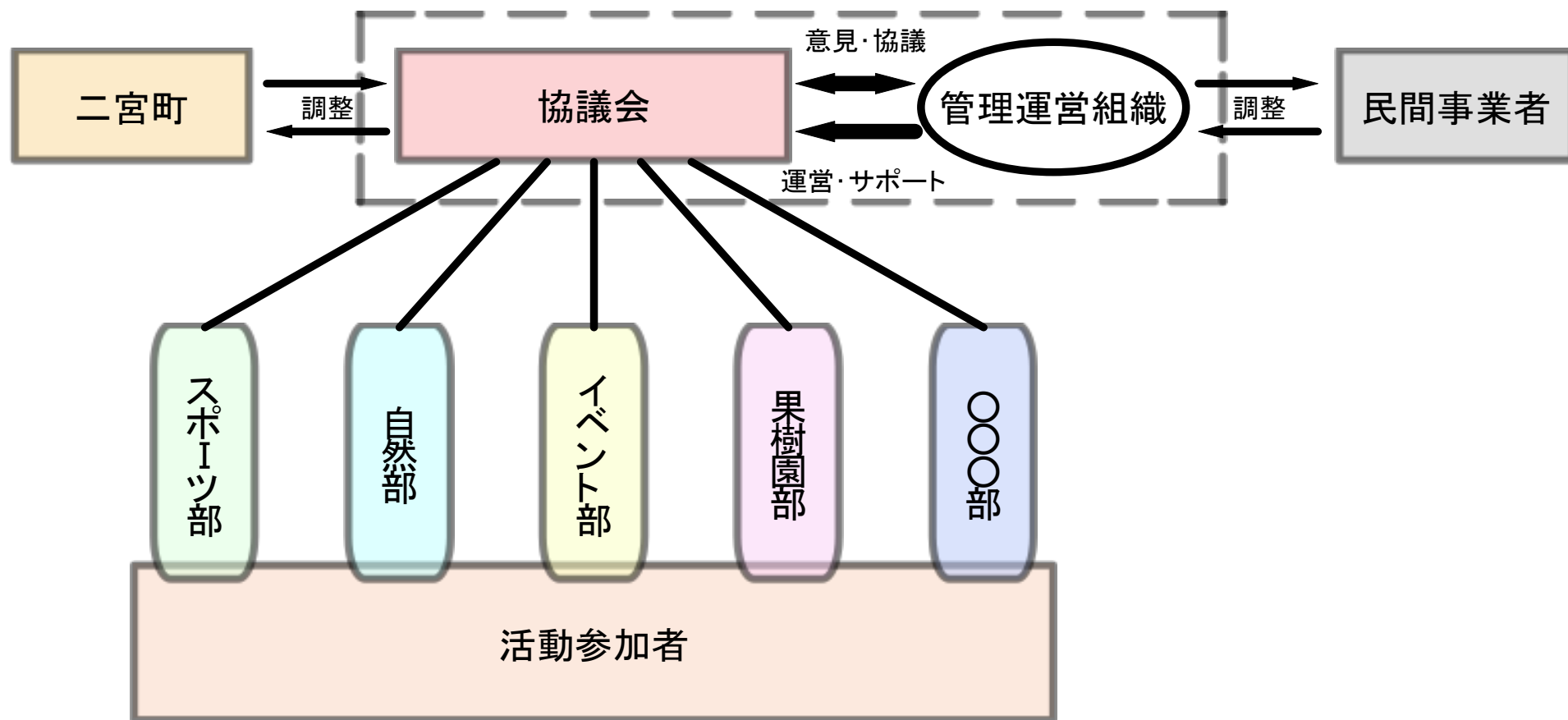


一色イーグルスの契約は今年度まで

来年度からの運営を
どのように行っていくか？

来年度以降の組織体制(案)

「協議会」と「管理運営組織」の設立により、住民主体の管理運営を行う。



それぞれの役割

□協議会

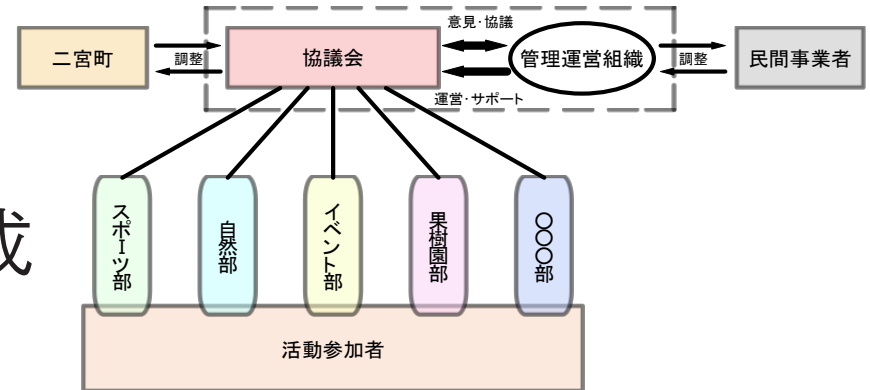
- ・各活動団体の代表者で構成
- ・意志決定機関

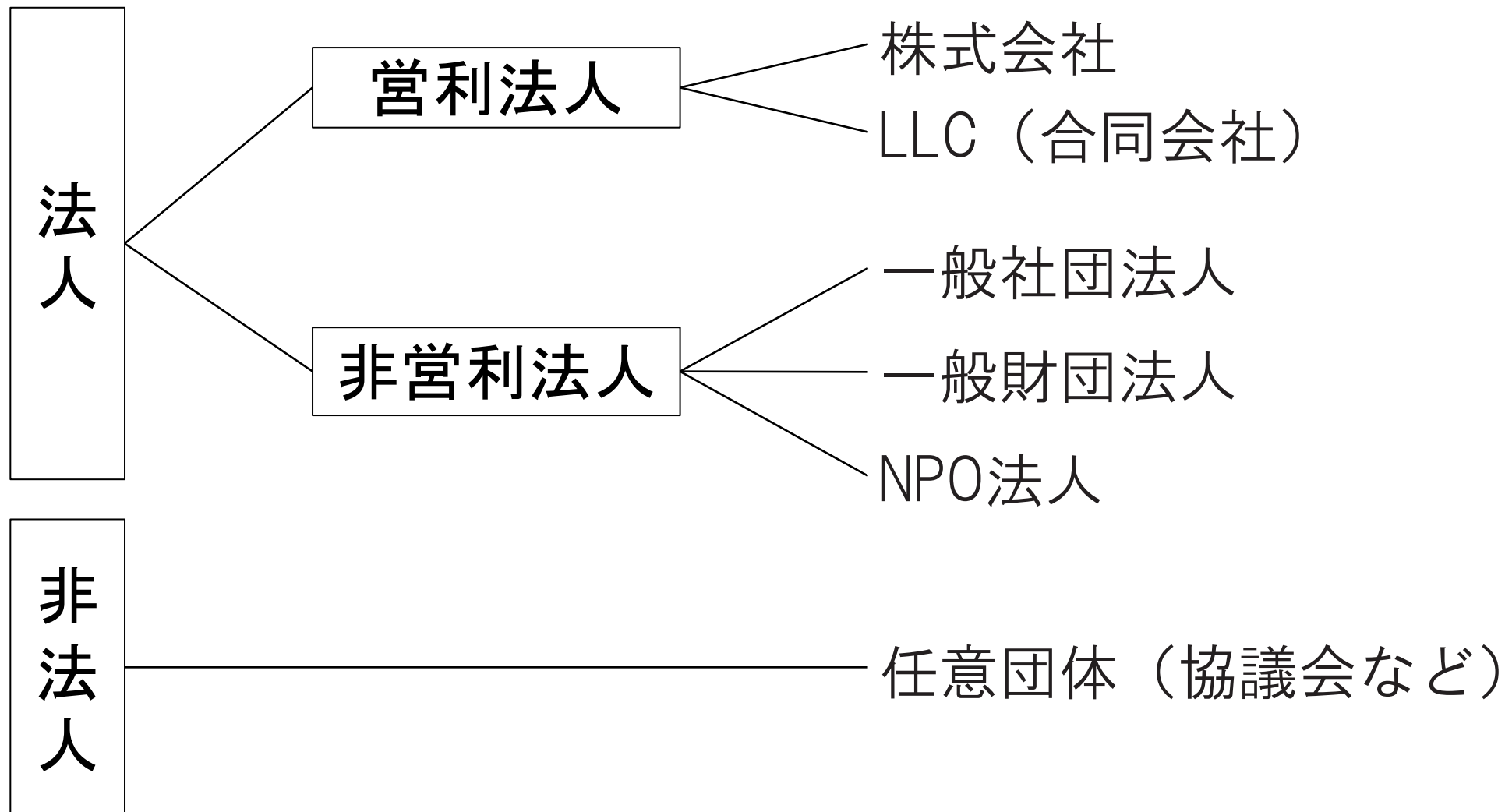
□管理運営組織

- ・東大果樹園跡地の管理を行う
- ・実働部隊

□活動団体

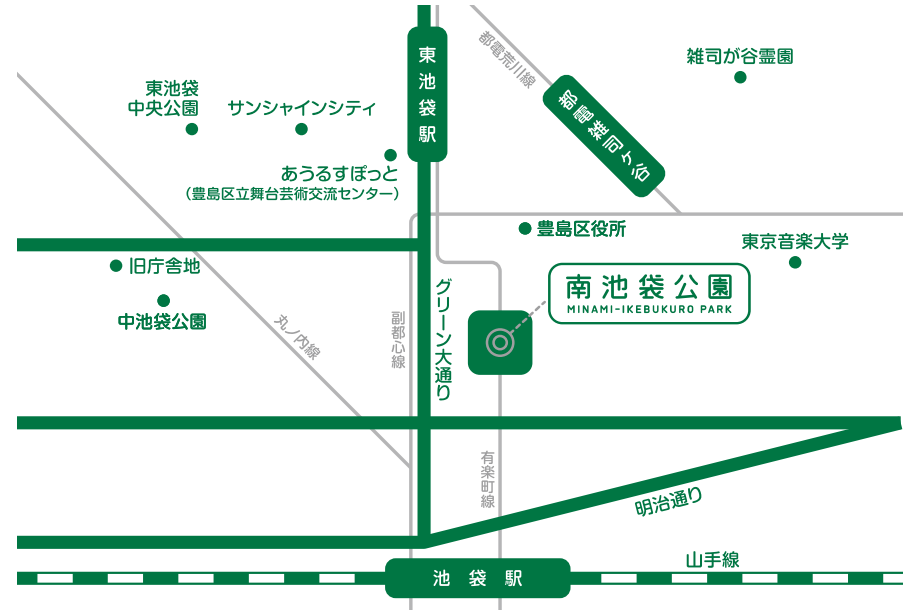
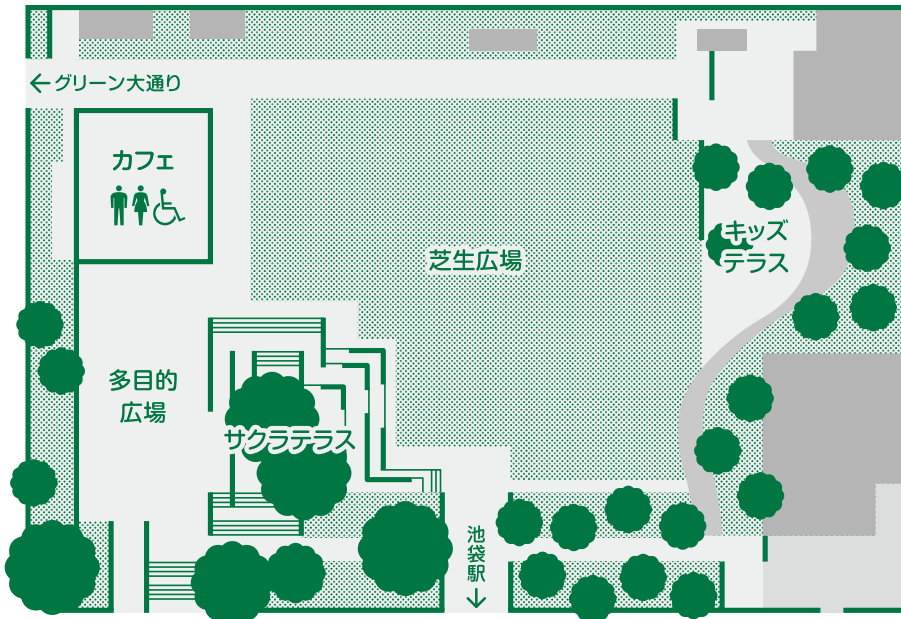
- ・東大果樹園跡地で活動をしたい・している団体





概要

- ・ 池袋にある街区公園
- ・ よくする会が管理運営
- ・ 常に人の集まる憩いの場が創出されている





緑がつなぐ文化的な楽しみ

豊島区が誇る文化芸術をアート・カルチャーと位置づけ、その魅力を広く区内に発信することで、豊島区ならではの文化の多様性を活かすため、公園や道路といった公共空間を都市の舞台として誰もが主役になれるまちづくりを進めています。南池袋公園は、巨大ターミナル駅を有する池袋副都心と環状線の森が輝く雑居が谷エリアの結節点に位置しており、世界が憧れるクールジャパンを体験できる場所として最新のロケーションにあります。緑豊かな公園が美観・活動の拠点となって、グリーン大賞、存続、そして教育が育み、文化的な楽しみが種ごとに広がっています。豊島区が目指す未来の風景を、ここ南池袋公園からスタートしています。

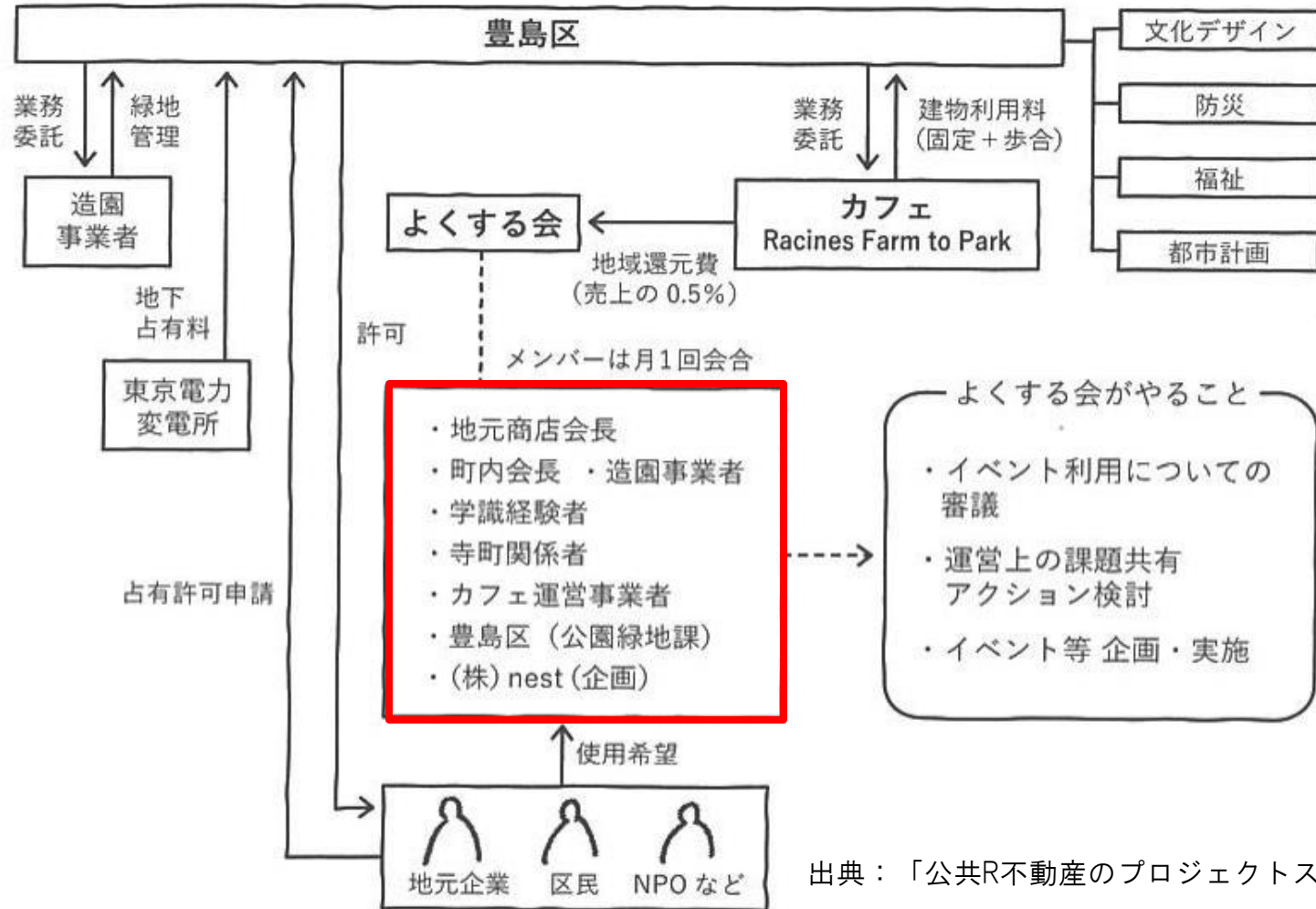


カフェレストラン「RACINES/ラシーヌ」

店名のRACINES/ラシーヌとは、フランス語で「ルーツ」という意味です。南池袋公園から始まったまったく新しい公園づくりが、やがて地域の価値ある未来を創造するルーツになる、そんな思いが込められています。ここでは豊島区オリジナルにこだわって、カフェ、レストラン、マルシェ、昼や夜ワークショップが展開されています。たくさんのおいしい「笑顔」が楽しめるカフェレストランで、くつろぎの時間をお過ごしください。

運営体制

よくする会を設立し、イベント利用の審議や企画・実施を行っている。



概要

- ・ NPO法人による管理が行われている
- ・ 毎週様々な団体によるイベントを実施





9/24
月・祝
13:30▶16:30

NPOの実践から学ぶ

公園の利活用の価値を最大化しよう

～公園経営学校の教材より～

公園に指定管理者制度が2006年に導入され、民間（企業・NPO等）が公園の管理・運営に参画できるようになりました。2017年6月には、都市公園法も改正になり、公園に求められることが大きく変わろうとしています。このチャンスに、どうやったら「公園の利活用の価値を最大化」できるのでしょうか？NPOフュージョン長池が開発した「公園経営学校」という教材から抜粋し「ダイジェスト版」としてお届けします

内容

- 13:30▶13:50… NPOフュージョン長池が指定管理する八王子市長池公園の紹介
テーマ：「人が幸せに生きる公園づくり」
(ふるさとづくり大賞・総務大臣表彰) 町田誠氏
- 13:50▶14:10… 都市公園法改正の要点 ビデオ講義
国土交通省都市局公園緑地・景観課 課長 町田誠氏 
- 14:10▶15:00… 公園の利活用の価値を最大化しよう
事例：長池公園 その1
- 休憩 15分間
- 15:15▶16:00… 公園の利活用の価値を最大化しよう
事例：長池公園 その2
- 16:00▶16:30… 質疑応答

ナビゲーター 藤永一夫 

参考図書：「NPOの底力（出版社：水曜社）」 「NPOの後継者（出版社：水曜社）」

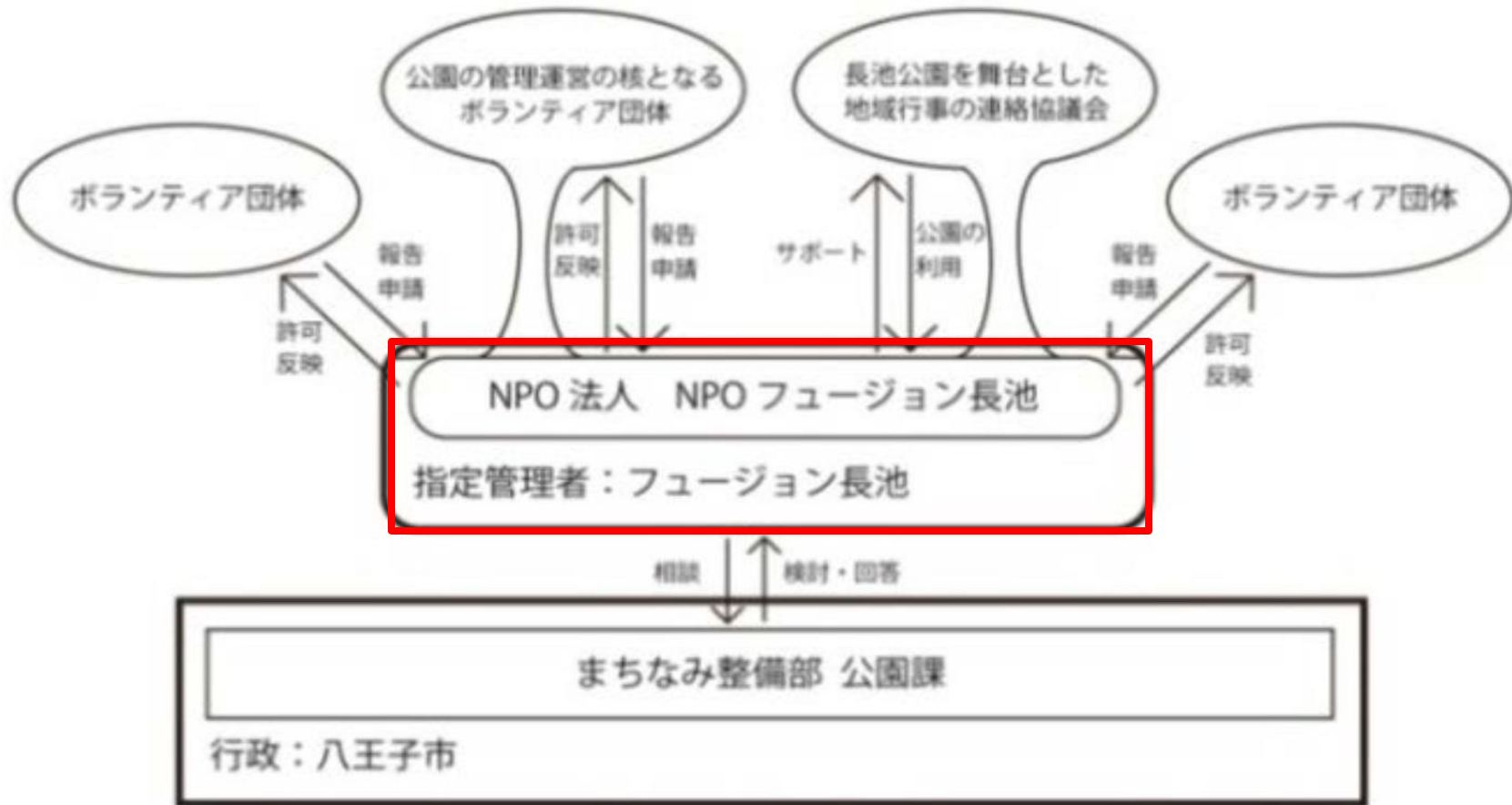
費用	2,000円（お一人）	会場	千葉県柏市若柴178-4 柏の葉キャンパス 148街区2 ショップ&オフィス棟 6階 KOILミーティングルームA3
主催	NPOフュージョン長池	アクセス	つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅 徒歩 2分
定員	20名		
問合せ先	080-3011-7090（富永）		
申込先	pms@pompoco.or.jp		

住所、氏名、電話番号、所属、役職を書いて各自お申し込みをお願いします

申込み専用フォーム



NPO法人が各活動団体の活動をまとめ
行政と調整を行う体制



資金調達の方法として考えられるもの

①施設利用費の徴収

- ・ドッグラン
- ・グラウンド貸し出し、場所貸し など

②参加費の徴収

- ・マルシェなどの出店費
- ・WSやイベントでの参加費 など

③町からの支援金など

（※現在は、町にてグラウンド以外の草刈りなどの管理委託として約100万円）

④交付金の活用（3年程度）

（地方創生推進交付金,企業版ふるさと納税など）

①施設利用費の徴収（ドッグラン）

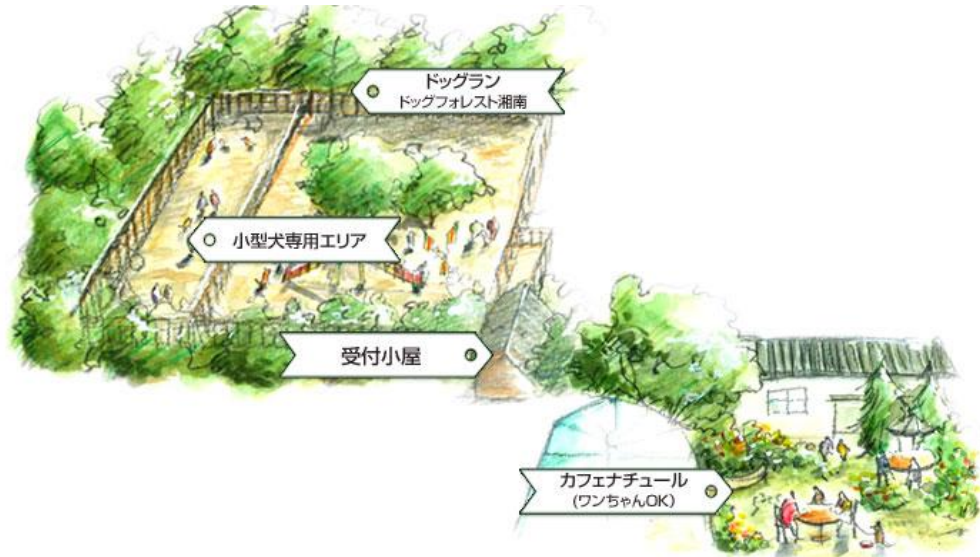
参考事例：ドッグフォレスト湘南（木村植物園） 平塚市土屋

入会金：2,000円

入場料：平日3時間まで700円/頭

休日2時間まで900円/頭

フリーパス（1ヶ月）：6,000円/頭



園内写真



フリーフィールド アジリティー



受付小屋 ペット小屋



広々ドッグランスペース



日よけテント



手洗い場



足洗い場



出典：ドッグフォレスト湘南HPより

①施設利用費の徴収（ドッグラン）

- 料金徴収は、ICカードのタッチシステム、自動引き落としなどの人件費のかからない方法で行う。
- 料金は月単位のフリーパスを主とする。
- 仮に、月額3,000円×入会者数100人=300,000円/月の収入となる。

①施設利用費の徴収（グラウンド貸し、場所貸し）



グラウンド貸し

- ・ 野球場、その他スポーツ
- ・ 各種イベント



場所貸し

- ・ 独特の雰囲気を生かし、映像撮影や写真撮影の場として提供する。
- ※建物内部の利用は安全面から困難

3-4.事業資金の調達方法（案）

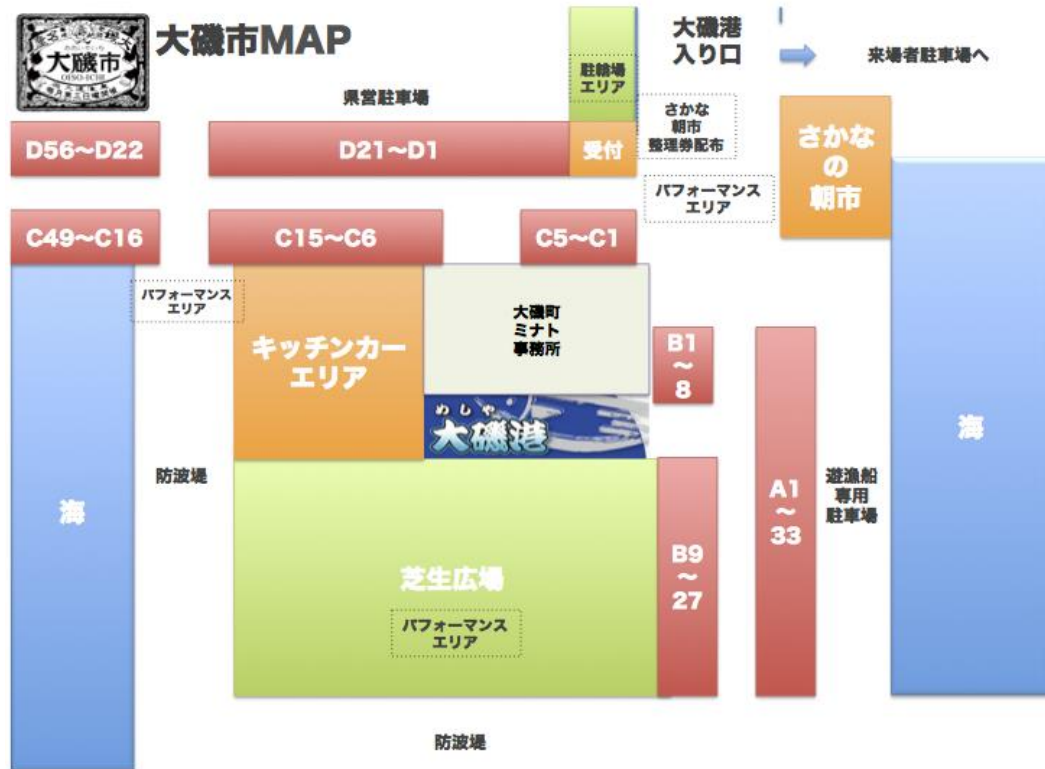
②参加費の徴収（イベント出店費）

参考事例：大磯市

出店料：飲食3,000円/1ブース
物販2,000円/1ブース



出典：大磯新聞HPより



出典：大磯市HPより

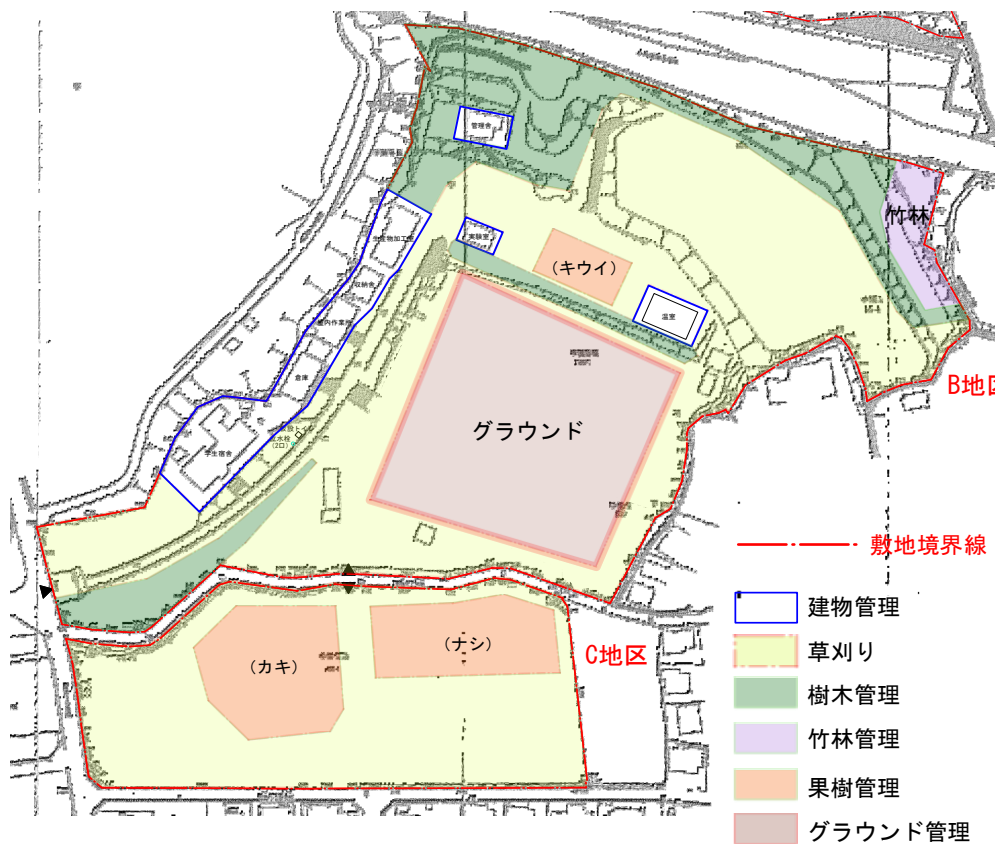
②参加費の徴収（イベント出店費）

- 仮に、月2回開催を想定
- $(\text{飲食}10 \times 3,000\text{円}) + (\text{物販}30 \times 2,000\text{円}) \times 2\text{回}$
=180,000円/月の収入となる。

※ただし、経費などは必要となってくる。

3-5.維持管理区分（案）

- B,C地区にて必要となる管理作業を整理した。
- 草刈り作業は敷地全面的に必要となり約1.8haとなる。



B,C地区維持管理項目一覧

区分	管理項目		数量	単位	年回数
基本管理	清掃	日常清掃 (主要施設、外周)	1	式	1回/週
		トイレ清掃	1	式	2回/週
		臨時処置(落葉集めなど) (園路沿い)	1	式	随時
	草刈	機械草刈	18,200	m2	
高木管理	果樹	剪定 (カキ、ナシ、キウイ)	約50	本	1回/年
		施肥・防虫害防除	1	式	随時
	竹林	間伐	570	m2	随時
	その他樹林	枯木、倒木除去	1	式	随時
		草刈り	4,600	m2	1回/年
中低木管理	刈り込み		300	m2	1回/年
施設管理	グラウンド整備	土均し (グラウンド南側)	1,200	m2	随時
		芝生刈り込み (グラウンド北側)	3,600	m2	5回/年
	排水施設	点検	1	式	随時
		柵・側溝清掃	1	式	随時
	園路広場	補修	1	式	随時
	門扉・柵	補修	1	式	随時
	ドッグラン	補修 (C地区)	1	式	随時
建物管理	※安全管理上、エリアを区分して町にて行う				

3-5.維持管理区分（案）

- 建物管理は、安全管理上、エリアを区分して町にて管理を行う方針とする。
- 柵などによるエリア区分の方法については景観に配慮する必要がある。



管理舎



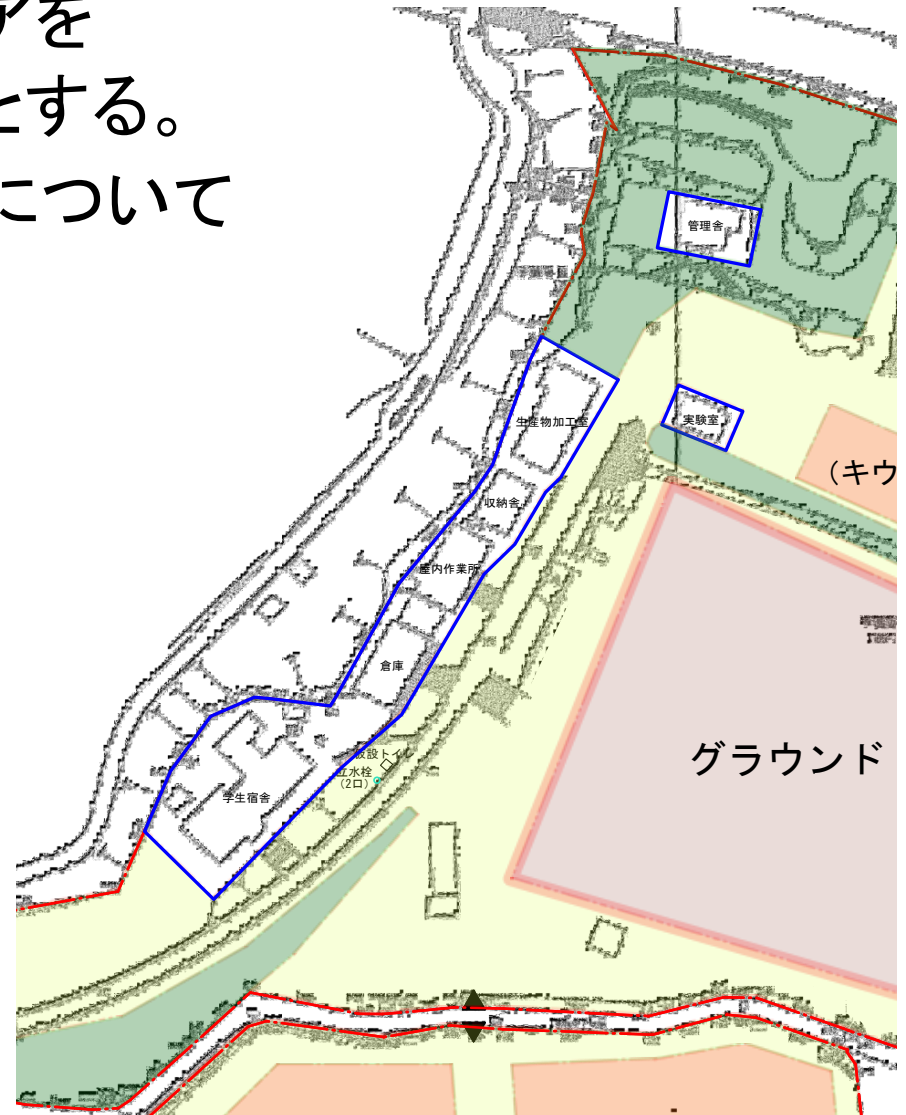
実験室



学生宿舎



倉庫など



①グラウンド

様々なスポーツを通して子どもや大人が楽しめ、交流できる場として、快適な利用が図れるよう草刈りや整地を行う。

②ドッグラン

犬や飼い主が安全に利用できるよう、また、子どもたちが動物と触れ合える場として適切な草刈りや、柵などの施設管理を行う。

③駐車場

利用者同士や近隣とのトラブルが発生しないよう、草刈りなどの適切な管理を行う。

④トイレ

不特定多数の利用者が使用するため、清潔な状態が保てるよう定期的に点検清掃を行う。

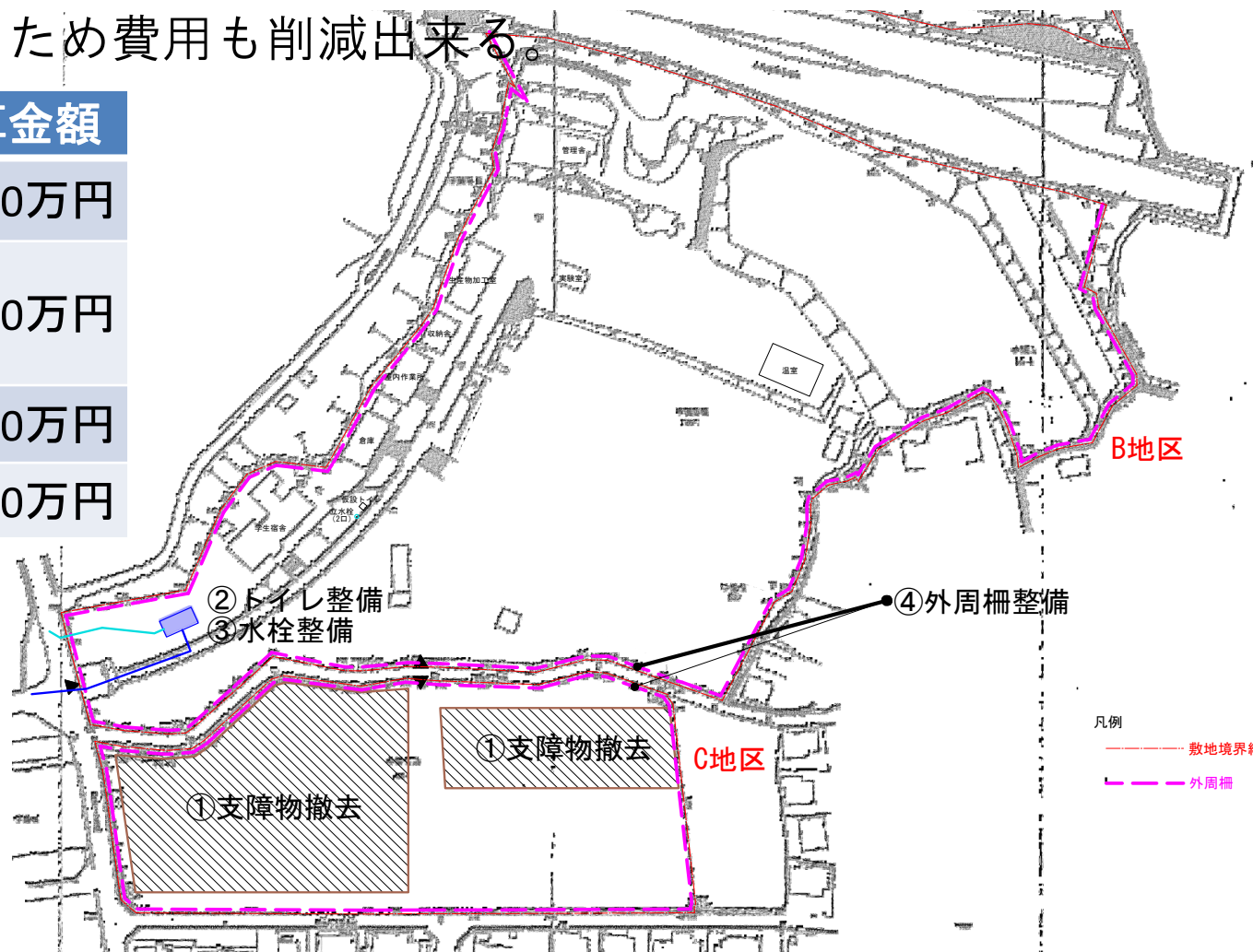
→今後、詳細を検討していく。

4. 管理を引き継ぐための町への要望

4-1.必要な整備

- WS意見を元に管理を引き継ぐための町への要望をまとめた。
- 整備にあたっては、町から管理運営組織へ資金提供を行い、跡地全体でデザインの統一のとれた整備を行うことが望ましい。
また、民間整備となるため費用も削減出来る。

番号	内容	概算金額
①	支障物撤去	100万円
②	トイレ整備 (男女別+多目的)	1,000万円
③	水飲み整備	100万円
④	外周柵整備	500万円



→今後、町にて検討。

トイレ整備規模のイメージ (男女別+多目的)

※デザインも含め今後検討



外周柵の現況写真



B,C地区間西側



B,C地区間東側



B地区正門前



B地区北東部

5. 今後のスケジュール

実証実験項目		内容	中心人物	時期(候補日)
①	C地区 支障物撤去+ ドッグラン整備	・単管やワイヤーなどの撤去にトライする ・草刈りなどの整地作業を行う ・C地区西側にドッグランを整備する	全員	9/30(日)
②	C地区 支障物撤去+ ドッグラン整備	・第1回実証実験の続きを行う	全員	10月中旬頃
③	自然体験教室	・子ども主体の自然活動	子ども 自然塾 など	子ども自然塾 活動日
		・自然活動のWS(町外からも人を呼ぶ)		
		・キャンプやたき火などの野外活動の実施		
④	マルシェ+ ガイドツアー	・マルシェやクラフト市を開催する ・飲食スペースなどの整備を行う	参加者	11月～12月
		・湘南邸園文化祭2018と連携して建物の ガイドツアーを実施	参加者	11/24(土)

- ・ C地区のドッグラン整備を軸に他のイベントを合わせて実証実験を進めて行く
ドッグランは④イベント時オープンを目指して整備を進める
- ・ 日程は、今後調整を行う

C地区整備内容



C地区整備内容



道路際の単管撤去箇所



ドッグラン整備箇所

管理運営組織の育成(検討会)☑

第1回検討会(6/30)☐

- ・今年度の目標・活動内容の共有☐
- ・グループディスカッション☐
- ① 今年度の実証実験で何がやりたいか☐
- ② 実証実験をするために具体的に必要なことと課題☐



第2回検討会(8/26)☐

- ・第1回のふりかえり☐
- ・管理運営組織の検討☐
(維持管理制度、組織形態、運営方法、町への要望)☐
- ・今年度の実証実験内容の確認と決定☐



第3回検討会(10月下旬)☐

- ・事業計画内容の提案(管理運営組織、交付金等)☐



第4回検討会(12月上旬)☐

- ・実証実験のふりかえり☐
- ・事業計画内容の詳細検討(管理運営組織、交付金等)☐



第5回検討会(1月下旬)☐

- ・実証実験のふりかえり☐
- ・事業計画内容の確認☐

検討グループの活動☑

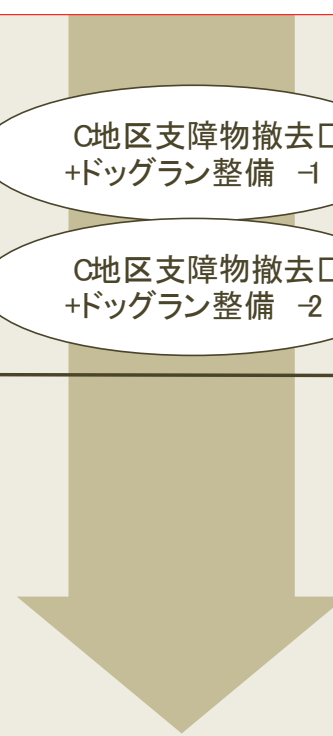


- ・検討グループメンバー間の関係性向上☐

来年度以降に管理することを認識した上で現地での活動をスタートさせる。☐

C地区支障物撤去☐
+ドッグラン整備 -1 ☐

C地区支障物撤去☐
+ドッグラン整備 -2 ☐



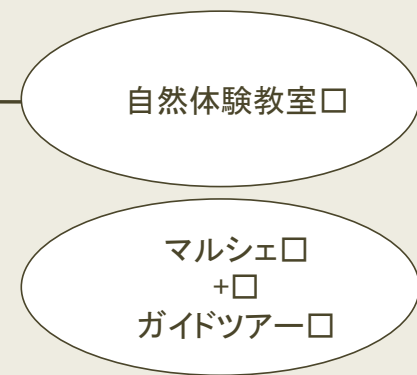
実証実験☑



- ・町外からも広く人を呼ぶ☐
- ・運営費をまかなう程度の収益を目指す☐

自然体験教室☐

マルシェ☐
+☐
ガイドツアー☐



次回、現地活動の日程
候補日：9月30日（日）